

# UMI、樹脂成形で新会社

## 電磁波照射 車など補給部品開拓

ユニバーサルマテリアルズインキュベーター（UMI、東京都中央区、月丘誠一代表取締役パートナー、03・5148・5241）は、電磁波の一種であるマイクロ波や近赤外線を照射して樹脂成形する技術で新会社を設立した。JSRの技術を活用。金型を使う射出成形と異なり、部品の少量生産に向く。自動車や家電などの補給部品の需要を開拓し、5年後に数十億円の売上高を目指す。

新会社は、micr 経営責任者へCE 化学分野に特化した投資会社であるUMIがOAMS（川崎市高O）、044・455津区、長谷川裕貴最高・6770）。素材・



運営するファンドが同社に出資している。「光成形」と呼ぶ同社の技術は金型の代わりに特殊シリコン製のゴム型を使う。部品

の現物や設計データから作ったゴム型に、微粒子状の熱可塑性樹脂を充填する。型の外側から、樹脂の種類に応じてマイクロ波、または近赤外線を照射し、樹脂を溶融・成形する。

自動車や家電などの部品メーカーは、交換用の補給部品の供給を

一定期間義務付けられることが多い。光成形で使うゴム型は、金型よりも手軽で安価に製作できる。使用機会が減った金型を保有せず済み、維持管理費や保管場所を削減できる。少量生産に向く手法は、ほかに3Dプリンターがある。ただ、積層のしま模様が生じやすいことや強度などの課題があり、「製品としての使用を考えると光成形が優位」（長谷川CEO）とみる。同社では成形機や材料の販売とともに、成形品の受託製造も手がけていきたい考えだ。

↑ マイクロ波を照射して熱可塑性樹脂を成形する機械。新会社は素材・化学分野に特化した投資会社のUMIが運営するファンドが出資

年月日	18	12	24	ページ	09	NO.	
-----	----	----	----	-----	----	-----	--